



みなみ 園だより 9がつ

令和5年9月1日
目黒区立南保育園園長

先日、賑やかな蝉の鳴き声と同時にこおろぎの鳴き声が聞こえてきました。今年の夏は特に暑く感じ、この暑さはいったいつまで続くのかと思っていましたが、季節はちゃんと秋に近づいていると感じた出来事でした。

8月30日、31日で3、4、5歳児クラスの子どもたちは一人一人この夏の頑張りを見せ合いっこし、プールじまいをしました。「ばた足で泳ぎます」とプールのはじからはじまで息つぎもせず泳ぎきった子がいました。「すごかったね。びっくりしたよ」と声をかけると、「毎日ママと一緒に風呂でもぐる練習したんだよ。10秒もぐれるようになったんだ」と話してくれました。友達の姿に刺激を受け、自分もできるようにになりたいと保育園以外でもひたむきがんばる思いに感激しました。一人一人に日々の中で素敵なエピソードがたくさんあり、そのたびに心もからだも成長していることを感じます。

連日の夏の暑さを吹き飛ばすくらい威勢のいい掛け声がホールから聞こえてきます。運動会の取り組みで5歳児クラスの子どもたちがソーラン節を踊っているのですが、見に行くとすでに3、4歳児クラスの子どもたちが大勢ホールの前で見ていました。かっこよく踊る5歳児の姿はやはり憧れの的のようです。この夏の経験を通して大きくなった子どもたちは次の目標に向かってがんばっています。



今月の行事予定

引き渡し訓練

身体計測 避難訓練 (全クラス)

見立ててつくった料理を見ながら
歌をうたっていました。
「ハッピーバースデー、ケーキ〜」

子どものつぶやき
(1歳児クラス)



初めてのプール (3歳児 でんでんむし組)



去年幼児クラスが楽しそうにプールに入っている様子をととなりで水遊びをしながらいつも見ていたので、今年から大きいプールに入ることをとても楽しみにしていました。最初の頃は水着に着替えることが難しく、準備にとっても時間がかかっていたり、プールにも緊張気味にそーっと入っていましたが、プールがとても楽しみになり、身支度も驚くほど早くなりました。

フープを使い水面にトンネルを作ると「ラッコだよ」「次はカピバラね」と色々な動物になってくぐったり、「イルカになる」と顔をつけて潜ったりする子もいました。顔に水がかかるのが嫌で端に立って様子を見ている子もいましたが、水に沈む貝やボール拾いをする時は顎まで水面につけて夢中になって拾っているうちにいつの間にかしっかり水の中に入っている姿も見られるようになりました。一人ひとりが自分に合ったスタイルで、プールを楽しむようになりました。

どの子もプールがない日にも「今日もプールはある？」と保育園での楽しみの一つになったようです。これからも、色々な活動を通して保育園に行く楽しみがたくさん増えるようにしていきたいと思えます。

【0歳児 ありんこ組】

テラスで水遊びをし始めた頃は、水が入ったたらいを前に、ゆっくりと水の中に手を入れてみたりその様子を遠くから伺ったりしていましたが、保育士が「冷たくて気持ちいいね」とたらいに手を入れてかき混ぜたりしながら水に触れていると、表情が柔らかくなり、水面を叩いたり深くまで両手を入れたりしていました。水しぶきが顔にかかる目と口を大きく開けて驚いていたので「あー、びっくり。冷たいね」と明るく保育士が声をかけると、途端に表情が変わり嬉しそうに「きゃー」と声をあげながら、ますます水面を叩いていました。水に慣れてくると、水の入ったバケツを両手でひっくり返したり、水の入ったカップの中で手をモミモミしてみたりと、その子なりに水の感触を楽しんでいます。中にはたらいにあしを掛け「よしいくか」と聞こえてくるように、中に入ろうとしていました。この夏の経験を通して、水の「冷たさ」「心地よさ」を全身で感じる事ができた子どもたちです。これからも、様々な素材の感触を楽しんでいけるように片栗粉や砂などに触れる機会を持てるようにしていきたいと思います。



【1歳児 てんとうむし組】

初めの頃に水面を手でダイナミックにたたいたり混ぜたりする等、手や全身で水の感触を思う存分に楽しんでいた子どもたちは、今ではカップやシャベルでタライの中の水をすくったり、こぼしたりして道具を使った水遊びも楽しんでいます。カップからカップに移し替えたり、すくった水をペットボトルに注いだりするなど、様々な遊び方を考えて試してみています。ある日、カップの水をペットボトルの口に当て水を入れようとしている子がいました。ボトルの口をよく見て、ゆっくり慎重にカップを傾けて注ぐことを何度も繰り返すと、だんだんと水が溜まっていきました。ボトルの小さな穴に水を入れていくことは集中力も必要で、真剣な表情で繰り返しています。ボトルが水でいっぱいになるとやっと顔を上げ、「いっぱい」と満足そうに頷きながら保育士を見た後、最後はボトルをひっくり返して勢いよく水を出すと、笑顔を見せています。これからも子どもたちが“やってみたい”“楽しい”と思うことを見つけた時には十分に試しながら楽しめるように見守ってきたいと思います。



【2歳児 みつばち組】

タライに水を入れて洗濯遊びを始めると「よきれいにしゅるじょー」と言ってタライの前にしゃがみ、布をごしごしとこすり始める子がいました。保育士が「きれいになったかな」と尋ねると、布をよく見て「あ、ここもだ」と言って、念入りに洗っています。きれいになると保育士を真似て



布を握って絞り、洗濯ばさみに付けて干していました。その楽しそうな様子を見て他の子どもたちもやってきて、一緒に洗濯を始めます。布を干し終わったので「良いお天気だからすぐ乾くかな」と言うと、みんな布をのぞき込んだり、触ったりして確認しています。「乾いた」と一人の子が言うと、またタライに入れて洗濯を始めていました。自分の体験したことを遊びの中で再現して楽しむ力が増してどんどん楽しくなっていくので、色々な生活再現遊びができるように工夫していきたいです。